

2021年12月8日

各位

SHINSEI SUSTAINABLE
IMPACT ASSESSMENT株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)**【サステナブルインパクト】医療法人医誠会に対するソーシャルローンの実行について**

新生銀行グループは、持続可能性や ESG/SDGs の観点に、環境・社会・経済など社会全般に対して正のインパクトをもたらすことを目的とする社会的インパクトの概念を融合させた「サステナブルインパクト」の取り組みを推進しています。社会課題に対して正のインパクトをもたらす企業や事業に対し、お客さまとの継続的な対話を通じて投融資を行っていきます。

このたび、当行は、大阪市水道局扇町庁舎跡地における新病院の建設費用を資金用途とする医療法人医誠会（大阪府大阪市、理事長 谷 幸治、以下「当会」）向けシンジケートローンに参加し、2021年11月30日に当行参加額において「新生ソーシャルローン」として貸付実行しました。病院開発型のコーポレートローンに対するソーシャル評価は、当行として初の取り組みです。

本件新病院開発プロジェクト（以下「本件」）は、当会が運営する医誠会病院（327 床）と城東中央病院（233 床）を移転統合し、大阪市水道局扇町庁舎跡地に 560 床の大型新病院「医誠会国際総合病院」を建設する計画です。大阪市水道局の再開発事業コンペを経て、当会グループが開発事業者に決定しました。新病院には、大阪市の「扇町用地活用方針」に沿って周辺の「賑わい創出」機能を持つ劇場等の文化施設が併設される予定です。



（「医誠会国際総合病院」完成予想図）

現在、1986年の民間病院病床規制施行前の駆け込み増床を背景とする病院建築ラッシュから約40年が経過する中で、全国の病院において建て替え需要が顕在化しつつあります。当行は、2010年のヘルスケアファイナンス部の創設以来積み上げてきたヘルスケアファイナンス分野における専門性の発揮と、ソーシャル評価による病院向けファイナンスの社会的意義の可視化を通じて、医療施設の建て替えや現代医療体制の構築に向けた、病院の円滑な資金調達を支援してまいります。

新生銀行グループは、社会・環境課題の解決に向けたソリューションの提供をグループ経営のマテリアリティとして、今後も環境・社会課題の改善に資する事業への継続的なファイナンスの提供を通して、持続的な社会の構築に貢献していきます。

【別添資料】

「新生ソーシャルローン」の評価概要について

「新生ソーシャルローン」とは、特定の社会課題への対処やその軽減に資する事業や社会的インパクトをもたらす事業に資金用途を限定したローンであり、2020年5月に当行が策定した、「新生ソーシャルファイナンス・フレームワーク」^{※1}に適合するファイナンスです。

借入人	医療法人医誠会
資金用途	医誠会国際総合病院の建設費用
本件の社会的意義	<p>「患者」を対象とした「必要不可欠なサービスへのアクセス」、「女性」及び「仕事と子育てを両立する人々」を対象とした「社会経済的向上及びエンパワーメント」の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 患者の視点：救急対応を含む急性期及び高度急性期等へのアクセス ➢ 地域社会の視点：高まる医療需要への対応、地域包括ケアシステム構築への寄与 ➢ 医療従事者の視点：女性活躍・健康経営・働き方改革の推進
本件がもたらす社会的インパクトと社会的課題との整合性	SDGs では主に「目標 3 すべての人に健康と福祉を」等に貢献すると考えられる。SDGs 推進本部「SDGs アクションプラン 2021」や厚生労働省「地域医療構想」等の国の方針、大阪府「第 7 次大阪府医療計画」等の地域の方針とも整合すると評価した。
その他評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当会は「患者中心主義」を自らの使命と掲げた上で、四者満足（患者満足・職員満足・病院満足・社会満足）の実現を目指す経営を実践しており、患者目線に立った設備・制度の設計や、職員の業務負荷軽減に対する取り組みの実施、ホロニクスグループによる健康啓発や希少動物保護、寄付等の社会貢献活動に積極的であることを評価した。 ✓ 救命救急士が 24 時間 365 日シフトを組み「断らない救急医療」を実践しており、救急搬送の積極的な受入や近隣病院等で病状が急変した患者等の無料搬送を実施していること、また地域医療連携室を設置し、地域の医療機関との積極的な連携を行うことで、切れ目のない医療サービスの提供を行っていることを評価した。 ✓ 大阪市の「扇町用地活用方針」に沿って劇場等の文化創造や交流促進に資する施設を整備し、地域の賑わい創出や街の活性化に貢献することや、環境に配慮した建物・設備の設計（CASBEE 大阪みらい A クラス）とする計画であることを評価した。

※1 新生ソーシャルファイナンス・フレームワークを含む、「新生グリーン/ソーシャル/サステナビリティファイナンス・フレームワーク」の概要については、別添の参考資料をご参照ください。

【参考資料】

「新生グリーン/ソーシャル/サステナビリティファイナンス・フレームワーク」について

近年、企業の資金調達手段の一つとして、グリーンローン、ソーシャルローン、サステナビリティローンなど、環境・社会課題の改善に資する事業に資金使途が限定されたファイナンスを活用する例が増えています。当行においても、これらのファイナンスの実施を通じて、お客さまの環境・社会課題の改善に資する取り組みをサポートするために、「新生グリーンファイナンス・フレームワーク」、「新生ソーシャルファイナンス・フレームワーク」、「新生サステナビリティファイナンス・フレームワーク」(以下、総称して「本フレームワーク」)を、2020年5月に策定しました。

当行が本フレームワークに基づくファイナンスを行うにあたっては、社内で独立性を確保した評価室が、資金使途や資金管理方法、潜在的な環境・社会面への負の影響等を評価し、本フレームワークへの適合性を確認します。

また、本フレームワークについては、関連原則と整合的であること^{※2}、本フレームワークの社内の実施体制が堅固であることについて、株式会社日本格付研究所(JCR)より、第三者意見を取得しています。

なお、当行では、本フレームワークの適合性の確認にあたって、以下のロゴマークを使用することにしています。

【環境性】



SHINSEI
SUSTAINABLE
IMPACT
ASSESSMENT

【社会性】



SHINSEI
SUSTAINABLE
IMPACT
ASSESSMENT

※2 本フレームワークでは、国内外での指針である以下の関連原則と整合した運営を行います。

- ・ 国際資本市場協会(ICMA)が公表している「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」、「サステナビリティボンド・ガイドライン」
- ・ ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)ならびにアジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーションが策定した「グリーンローン原則」

以上

金・融 | リ・デザイン
Redesigning Finance

お問い合わせ先
新生銀行 グループ IR・広報部
報道機関のみなさま: Shinsei_PR@shinseibank.com
(担当: 下村、伊佐)
株主・投資家のみなさま: Shinsei_IR@shinseibank.com
(担当: 高田、持田)